

## 令和2年度三多摩サッカー大会について(通達)

令和3年1月17日

(一社)三多摩サッカー連盟

理事長 齋藤 直広

### 経緯

令和3年1月7日に政府よりコロナ感染の「緊急事態宣言」が再発出され、これを受け三多摩サッカー連盟加盟24地域の理事に本大会への参加可否について調査を行いました(1月10日発送、1月14日回収)。24地域中「参加しない」5地域、「感染症予防対策下で参加する」19地域の回答を得ました。この結果、令和2年度の三多摩サッカー大会は感染症予防対策下で「開催する」ことにします。なお、コロナ感染の悪化により会場の使用が不可となり、大会運営ができないと判断した時点で中止といたします。

つきましては、選手の安全を第一に考え参加辞退を決断された5地域ならびに他の地域のチームには、敬意を表します。一方、参加の意思を示した地域ならびにチームは、感染予防対策を遵守して大会参加をお願いします。

### 1. 大会開催にあたり

- ①令和3年2月7日(日)より大会を開始し、全試合を無観客とする。
- ②開・閉会式は実施しない。優勝杯・旗の返還は対象チームに別途連絡する。
- ③トーナメント表より参加辞退チームは削除し、対戦に不均衡が生じるが再抽選は行わない。
- ④参加辞退地域の協会(連盟)名、チーム名、大会役員(大会委員、地域協力委員、審判員)は、プログラムに未掲載とし、本大会での一切の責任を負わせない
- ⑤自治体の指導により会場使用不可で大会期間の延長が生じる可能性もある。
- ⑥大会プログラムは、業者印刷・配布は行わず三多摩サッカー連盟 HP(3tama.fa.jp)に掲載する。
- ⑦本大会において、後援依頼は行わない。

### 2. コロナ感染予防対策(その1)

- ①選手登録表(個人情報を含む)は、各地域の協会(連盟)またはチームで管理する。既に提出済み(受理)については、三多摩サッカー連盟理事長の責任下でファイルを削除する。
- ②参加チーム内に感染陽性者が確認された場合は、本人・チーム代表者・理事間で対応する。
- ③陽性者からのチーム内濃厚接触者が疑われる場合は、該当チームは棄権とする。
- ④会場提供地域協会(連盟)は、当日の参加チームのメンバー表・審判員・本部役員等の出席簿を整理保管し、提供会場での全日程終了後に大会事務局へ渡す。
- ⑤会場提供地区協会(連盟)は、必要数の消毒液(アルコール系)を準備し本部に設置する(購入費用は立替えレシートを保管する)。

### 3. コロナ感染予防対策(その2)

- ①関係者(選手・審判・役員)は、当日家を出る直前に体調の確認と体温測定を行う。
- ②ゲーム時以外は、すべてマスクを着用する(ベンチ内役員・選手、アップ時も含む)。

- ③更衣室使用はマスク着用で密・会話を避け、短時間で済ませる。
- ④各チームは消毒液(アルコール系)を準備し、選手はフィールドへの入退時に必ず手・指消毒を行う(手袋着用時は除く)。
- ⑤飲水は、共用しない(全試合給水タイムを採用)。
- ⑥ゲーム中選手は、唾・痰の排出を極力避ける。ベンチ内で大声による声援・指示は行わない。
- ⑦ゲーム開始・終了時の握手は避け、挨拶は主審の指示に従う。
- ⑧各チームはゲーム終了後ベンチ内の備品を消毒し、速やかに退去する。

#### 4. その他

- ①大会辞退地区ならびチームの参加費は、返却する(期日は検討中)。
- ②大会運営費(協力分担金、運営費、審判手当、会場使用費)は、事前に配布する。
- ③大会運営費に不足が生じた場合は、前年度大会の繰越金を充てる。

真のスポーツマンシップは「**感染させない! しない!!**」です。